

## **Recurrent cerebral infarction due to benign uterine myoma**

Eiko Higuchi MD, Sono Toi MD, Yuka Shirai MD, Satoko Mizuno MD,  
Kazunori Hashimoto, MD, Yoji Nagashima, MD, Kazuo Kitagawa, MD

### **【要旨】**

症例は 43 歳女性。某年より子宮筋腫を指摘され、4 年後脳梗塞を発症した。抗血栓療法後も脳梗塞を繰り返し、再発の度に抗血栓薬を変更された。繰り返す脳梗塞の原因精査のため当院紹介となり、入院直後の頭部 MRI で両側大脳半球に散在する急性期梗塞巣がみられ、経頭蓋超音波ドプラ (TCD) では複数の micro embolic signals (MES) を認めた。造影胸腹骨盤腔 CT では陳旧性脾腎梗塞を認め、全身血栓症として精査を行ったが原因不明であった。ヘパリン点滴を行うも MES は消失せず、子宮全摘出術を施行した。摘出された子宮筋腫の病理所見では悪性像はなく、術後から MES は消失し脳梗塞の再発なく経過した。脳梗塞の原因として子宮筋腫は一般的ではないが他に原因がない場合、可能性を考慮するべきであると考えられた。

